

二〇二二年度入学式 学長式辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

この度、札幌保健医療大学は保健医療学部看護学科第十期生一一一名、栄養学科第六期生五六名、栄養学科三年次編入生四名の計一七一名を新入生としてお迎えすることができました。

教職員を代表して、大学生生活への期待に満ち溢れている皆さんを心より歓迎致しますと共に、今まで長年に亘り皆さんを精神的にも経済的にも支えてこられましたご家族、関係者の皆様にも心よりお祝いを申し上げます。本来であれば人数制限なくご家族の方々、そしてご来賓の皆様にも、本入学式にご臨席をたまわるところでしたが、一昨年来の未だに終息の兆しが見えないコロナ禍により、限られた関係者のみでの入学式となりましたこと誠に申し訳なく思います。

さて、札幌保健医療大学は、学校法人吉田学園唯一の大学として、保健医療に携わる専門職者を育成するために二〇一三年四月に看護学部

看護学科を開設致しました。その四年後には栄養学科を新設し、看護学部から保健医療学部へと改称し、一学部二学科体制となって今日に至っております。これまでに看護学科第一期生から第六期生まで、そして、栄養学科第一期生と二期生を加えて六百数十名の卒業生を保健医療分野に送り出し、それぞれの職域で活躍しております。

六十六年の歴史を有する学校法人吉田学園の建学精神は「高度な職業人育成」人財」の育成ですが、人財の財という文字は木偏ではなく貝偏の財、すなわち財産・財宝・文化財などの財の字を充てて人財としております。この人財には、社会や組織において存在感や存在価値を示すことのできる職業人という意味が込められております。この人財育成を基盤として、札幌保健医療大学では「人間力教育を根幹とした医療人育成」を教育理念としてかかげています。

では、人間力とは具体的に何を指すのでしょうか。

内閣府の定義では、人間力とは、「社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力」とされています。奇しくも、一四六年前の明治九年に制定された二十歳という成年年齢が、昨日から施行された改正民法により十八歳に引き下げられました。望むと望まざるとにかかわらず、新入生の皆さんは法律的に成年となったわけです。保護者の同意がなくても自分の意志で様々な契約ができるようになり、まさに自立した一人の成年としての第一歩を歩み始めたことになります。

しかし、本学では保健医療の中軸を担う看護師・保健師・管理栄養士を育成しますので、自立した一人の人間である成年として力強く生きる力だけではなく、病気と闘っている人、健康と病気の狭間にある未病の人、地域で普通に生活している人、健康保持増進に励む人など、生きていく様々な人々と関わるための人間力を身に付けなければなりません。そのために本学の教育が目

指す人間力として、四つの要素、すなわち、「豊かな感性」「高潔な精神」「確かな知力」そして、「他者との共存」を挙げております。

「豊かな感性」とは人の心に寄り添い、他者の思いや苦悩をくみ取る力であり、「高潔な精神」とは、真実の真・善・悪の善を追求し、公共の使命と責任を全うする意志力であり、「確かな知力」とは、人間的な判断と行動の知的拠り所となる力であり、「他者との共存」とは、多様な文化や社会、個性ある互いを認め合い、他者と共に生きる力のことです。これら四つの要素は、学生さんだけではなく、本学教職員も含めた全ての社会人にも求められる普遍的な要素でもあります。

人間とは人の間と書きます。人は自分ひとりでは生きていきません。人と人との間にある繋がりがあつてこそ人間たりうるものであり、人間力はその基本的能力ともいえます。この人間力教育の理念は、本学の三つの方針、すなわち入学者受け入れの方針、四年間の教育課程の方針、そして卒業

時の学位授与の方針に反映されています。皆さんはすでに本学の入学者受け入れの方針に合格して本日の入学式に臨んでおります。本学の教育課程と学位授与の方針をクリアした看護学科と栄養学科の先輩達が看護師・保健師・管理栄養士として、既に社会で活躍し、又は活躍しようとしています。

現在、北海道内には十五の看護系又は栄養系の大学がありますが、四年間の学部教育で看護師・保健師及び管理栄養士の三つの医療専門職者を育成できるのは本学だけです。将来のチーム医療を見据えた看護学科と栄養学科との合同授業を学部教育として一年次から展開できるのも本学の特徴といえます。

さて新入生の皆さんは、本日から札幌保健医療大学において四年間の学生生活をスタートさせました。これからの大学生活は、人生の中で最も自由に、自己の可能性を最大限まで探ることのできる四年間であると同時に、国家試験という最

後の難関を乗り越え、高齢者率が世界一の超高齢社会における看護・保健・栄養の専門職者としてのキャリア形成に最も重要な四年間であることも十分に認識していただきたいと思います。

今、世界を席卷している新型コロナウイルスによるパンデミックは三年目を迎え、終息の兆しが見通せない中、社会経済活動はもとより、大学教育にも非常に大きな影響を及ぼしております。

大学教育は大学在学中の四年間だけのためではなく、卒業後の皆さんの四十年、五十年あるいは一生のための教育です。どのような状況下であっても目の前の一つ一つの課題に対して真摯に向き合い、それらを着実にクリアすることが最も重要です。困難な事態に直面した場合には、それを乗り越えた時の満足感を先に思い浮かべながら取り組んでみてください。その度に自分が少しずつ成長していることを実感し、自信を深めることができると思います。

札幌保健医療大学は、皆さんのこれからの大学生活を応援し、皆さんが今抱いているこころざしを叶えるために全力を尽くすことをお約束して、私の式辞と致します。

二〇二二年四月二日

札幌保健医療大学 学長 小林 清一